

# 平成28年度事業報告

## 社会福祉法人 和松会

### 1. 役員会等の開催状況

#### (1) 平成28年5月23日 監事監査

- ・法人監事により平成27年度事業全般の監査を受けました。

#### (2) 平成28年5月28日 理事会・評議員会

##### 《議案》

- ・平成27年度法人及び各施設事業報告及び決算について  
法人監事による監査結果報告
- ・平成28年度法人及び施設会計第一次補正予算について
- ・就業規則の一部変更について  
(ストレスチェックの導入及びセクハラ、パワハラ禁止)
- ・給与規程の一部変更について (夜間勤務手当)
- ・和松会デイサービスセンター放射能防護対策改修工事について

##### 〈報告事項〉

- ・和松会デイサービスセンター放射能防護対策改修工事における  
浄化ユニット設備の認定について

##### 〈その他〉

- ・社会福祉法の一部改正について

#### (3) 平成28年12月3日 理事会・評議員会

##### 《議案》

- ・社会福祉法人和松会定款の変更について
- ・副理事長・常務理事の配置について
- ・評議員報酬規程の制定及び役員報酬規程改正について
- ・評議員選任・解任委員会運営細則制定及び評議員選任・解任委員の選任について
- ・平成28年度法人及び施設会計第二次補正予算について
- ・軽費老人ホーム和松園の寝具設備賃貸契約に伴う入札並びに入札参加業者の  
選定について

##### 〈報告事項〉

- ・平成28年度法人及び各施設の運営状況 (中間報告)
- ・県の指導監査報告・監事による中間監査報告
- ・デイサービス原子力災害対策施設整備事業について

##### 〈その他〉

- ・デイサービス事業の今後について

#### (4) 平成29年2月25日 理事会

##### 《議案》

- ・評議員選任について
- ・県の指導監査結果及び報告について

- ・ 経理規程の一部改正について
  - ・ 松寿園拠点区分会計の移行時減価償却特別積立資産の取崩について
- 〈その他〉
- ・ デイサービスの今後について

(4) 平成29年2月25日 評議員会

《議案》

- ・ 県の指導監査結果及び報告について
  - ・ 経理規程の一部改正について
  - ・ 松寿園拠点区分会計の移行時減価償却特別積立資産の取崩について
- 〈その他〉
- ・ デイサービスの今後について

(5) 平成29年3月25日 理事会・評議員会

《議案》

- ・ 和松会デイサービスセンター（通所介護事業及び介護予防通所介護事業）事業廃止について
- ・ 和松会障がい者デイサービスセンター（生活介護事業）の開始について
- ・ 和松会障がい者デイサービスセンター施設長の選任
- ・ 平成28年度法人及び施設会計第三次補正予算について
- ・ 平成29年度事業計画（案）並びに当初予算について
- ・ 平成29年度嘱託医師との委託契約について
- ・ 平成29年度各施設の給食外部委託契約について
- ・ 拠点区分間会計の借入並びに貸付について
- ・ 苦情解決第三者委員の選任について
- ・ 規程の制定、改正について（役員等慶弔見舞金規程、職員・臨時職員慶弔見舞金規程、職員就業規則、職員給与規程、経理規程）
- ・ 松寿園拠点区分の固定資産の増加について
- ・ 理事の補欠選任について

〈報告事項〉

- ・ 軽費老人ホーム和松園の寝具設備賃貸契約に伴う入札結果について
- ・ 評議員選任委員会の報告について
- ・ H28年度原子力災害対策施設整備事業  
和松会デイサービスセンター放射線防護対策工事完了報告

## 2. 施設並びに事業の状況

社会福祉法の一部を改正する法律が平成29年4月1日に施行され、これに伴い地域における公益的な取組を実施する責務、事業運営の透明性の向上、経営組織のガバナンスの強化、財務規律の強化が求められるようになりました。当法人の定款も全面改正し、平成29年度からの新しい体制作りを行ないました。

社会福祉法人を取り巻く環境は今まさに大きく変化し、高齢者・障害者の多様なニーズに対応することが地域から求められています。

当法人でも転換期をむかえ、平成3年に事業開始した和松会デイサービスセンターの通常規模型（一般型）通所介護事業を廃止し、地域のニーズに応えるために、障害福祉サービスの生活介護事業として和松会障がい者デイサービスセンターへの事業転換の検討を重ね、平成29年5月開設の運びとなりました。また、引き続き、和松会として相談支援事業・配食サービス・移送サービス事業や和松園、松風苑での生きがい講座・いきいきサロンを通じた介護予防活動等の公益的な事業へ積極的に取組み、地域福祉の充実に努めてまいりました。

施設の運営状況ですが介護保険関係では松寿園におきましては、入院日数の増加や退所者が22名と例年以上に多かったため、空床期間が長くなり稼働率93.9%と前年比△3.5%の減少となりました。

又短期入所事業は特養以外の入所施設が増えていることから、ショートステイの利用者は予想以上に減少し稼働率64.6%と収支面は厳しい1年でありました。

松秀園におきましては入院や退所者数が比較的になかったため稼働率は97.8%と前年比1.8%の増加となりました。

デイサービスセンターにおきましては、利用者の高齢化・重度化により体調不良により休む方も多くなり利用率も一般型（B型）で48.6%、認知症対応型（E型）では48.3%と非常に厳しい状況でありました。

障害者支援施設清松園におきましては28年度におきましては入所者の高齢化・重度化に伴い入院が増えていますが稼働率は97.8%と対前年比約1.8%増加致しました。

平成26年4月に開園いたしました生活介護事業所ぴのほ一ぷにおきましては、利用契約者が現在は22名になっていますが、重度の方が多いことから体調を崩され休まれる方が多いものの年間の稼働率は86.7%と昨年比1.8%増加と順調に推移しています。

軽費老人ホーム和松園につきましては、長期間入居されていた方の退園もあり入れ替わり時期となりましたが、大きな変化は無く順調に推移いたしました。

施設整備関係ですがデイサービスセンターにて放射線防護対策工事を県の全額補助、総工事費128百万円にて行いました。有事の際には、施設利用者他地域住民の方の安全確保のために利用していきます。

各施設におきましては建物・機械設備等の老朽化が進んでおり、各施設の細かな修繕等については順次、計画的に施設整備を進めてまいります。

以上により、当期活動増減差額は50,067千円の計上となりました。

## 3. 法人の財産と借入金の償還

和松会が今までに整備してきた各施設建設の借入金の償還については、事業収入、償還財源の補助金にて賄い順調に返済できました。

平成26年度より生活介護事業所ぴのほ一ぷの建設資金借入金も順調に償還さ

れ、28年度の元金償還額は22,346千円となりました。

期首借入金残高	236,172千円
期中借入額	0千円
期中元金返済額	22,346千円
期末借入金残高	213,826千円
(内1年以内返済予定額)	(22,346千円)

#### 4. 地域（福祉）交流活動の実施状況

##### (1) 地域・在宅福祉活動の推進

法人内各施設の短期入所事業や、障害者の日中一時支援、外出支援サービス、配食サービスや和松園・まいど童夢事業「生きがい講座・喫茶」・高齢者総合相談支援事業等を積極的に展開して地域支援活動を行いました。

##### (2) 長寿安楽地蔵尊大祭の開催

本年の「長寿安楽地蔵尊大祭」と「和松会夏祭り」は天候に恵まれ平成28年8月25日（木）に予定通り開催しました。

長寿安楽地蔵尊大祭は小笠青僧会の皆様のご協力により、地域の安全と和松会関係者の長寿と安楽の祈願を致しました。

また、夏祭りには地域の皆様も多数参加され、従業員、利用者と共に楽しい時間を過ごすことが出来ました。

##### (3) 福祉教育活動の推進

菊川市内の幼稚園、小学校、中学校や 近隣高校の体験学習の場として、また、大学関係及び専門学校の介護実習の場としても施設を開放しております。又、近隣の小中学校・高等学校を対象とし、県社協人材センター事業の「福祉の仕事魅力発見セミナー」へ職員を派遣し、福祉教育活動に取り組みました。

#### 5. 総合防災訓練の実施

施設毎に毎月防災訓練を実施しておりますが、和松会全体として総合的に実施した訓練等は次の通りです。

##### (1) 平成28年4月22日 午後7時より

松秀園地域非常救護班（高橋口地区）と和松会との連絡会議

平成28年5月20日 午後7時より

棚草・三協町内会非常救護班と和松会との連絡会議を行いました。

当日は、それぞれ28年度の防災計画・非常通報システムの説明や車椅子等による搬出実技講習を実施致しました。

##### (2) 平成28年7月29日 午後7時より

平成28年度の和松会合同夜間防災訓練を松寿園洗濯場から出火したことを想定した夜間非常通報・出動・避難誘導訓練を菊川市消防署員の立ち会いの下、棚草三協地区非常救護班と和松会全職員の参加による訓練を実施致しました。

(3) 平成29年3月24日

防災教育訓練として、地震体験者車を菊川市消防署に依頼し、全職員を対象とし実施致しました。

#### 6. 苦情解決第三者委員

平成28年4月に2名を選任し、毎月第3水曜日の苦情解決委員会に出席していただいております。

平成28年度の苦情及び相談の件数は法人全体で2件ありました。

施設別には松寿園で1件、デイサービスセンターで1件、計2件でしたが、苦情解決委員会におきまして内容を検討し、苦情内容等につきましては各園が共有し、再発防止に努めました。

尚、苦情案件につきましては、解決済みであります。